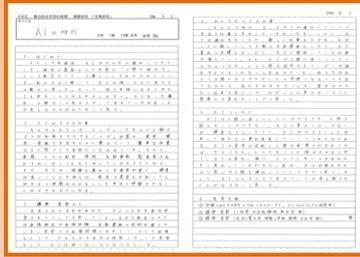


～ ある生徒の3年間の学び ～



論文形式

「AIと私たち」

3年 卒業研究

学びに向かう力
人間性等

AIに負けてはいけませんが、勝負するというより、AIができることを活用して、私たちが成長していくことが大切である。AIの高度な技術と人間の豊かな発想力が合わされば、今よりもっとできることの幅が広がる。AIは進化し続け、2045年には私たちの生活は大きく変わっているだろう。私は、AIが進化するのと同じで、人間も進化していくべきだと思う。そして、AIとともにどう生きていくかを考え続けなければならない。



外部講師によるレクチャー
金沢工業大学 中沢 教授

1年生のとき、蟹淵を調査して、自然環境を守る大切さについて知った。2年生では、外国人に英語でインタビューするなどして、石川をよりよくなる方法について考えた。3年生では、AIの学習をして、何十年先の未来について考えた。AIをはじめ、工業化などがさらに進むと、自然が減り環境が悪化する可能性が高い。だけど、外国人とコミュニケーションをとったりするときはAIがとても便利だ。よりよい世界の実現のためには、AIとどう向き合っていくか、みんなで考えていくべきだ。



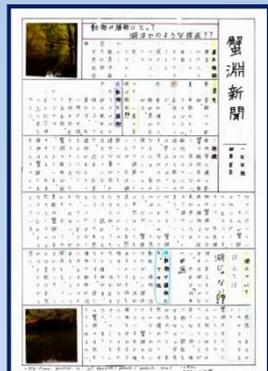
AIの機械学習を体験

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

1年 能美市研究 「蟹淵の自然」

蟹淵は人工的につくられているところが全くない所だとわかった。後に新しい開発をしたりするなどで空気が汚れたり、自然が壊れたりするかもしれないけど、蟹淵やそこにいる生き物、植物を守るように、できるかぎりのことをしたい。あと、この蟹淵の自然を人々に伝えたい。



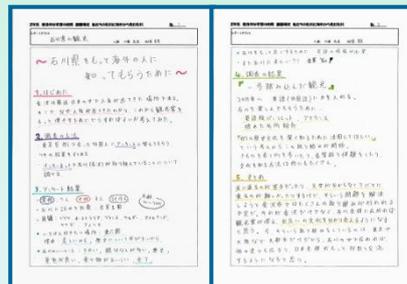
壁新聞形式



専門家とともに調査(蟹淵)

2年 石川県研究 「海外から見た石川」

アンケート結果から、外国人が一番行きたい場所は兼六園で、その美しさにふれたり、歴史について学んだりしたいようだ。外国人は床に座るのが苦手だったり、文字が分からなくてバスに乗るのが難しくかったりするけど、金沢市ではそのようなことに対する取り組みがたくさん行われる予定だ。外国人とお互いの文化をより分かり合えるようになるとうい。



レポート形式



英語でアンケート調査
(兼六園)